

昔からずっと、これからも。トクして学ぶ、エコマガジン。

ちょこっとえーこと

えこっとOSAKA

大阪府地球温暖化防止活動推進センター
情報誌

2010
秋
vol.27

特集 ACTION!! 2010

かんがえよう、 生物多様性。

—それは、すべての命を大切にすること—

大阪府のエコアクションキャラクター
「モットちゃん(イヌ)」 「キットちゃん(サル)」です。
イベントなどで、環境にやさしい行動(エコアクション)を伝えています。

◆大阪府地球温暖化防止活動推進センターからのお知らせ

「なにわのSTOP!!温暖化 大作戦」大阪大会参加団体 募集

●事業の趣旨●

現在、国の方針では、1990年比で2020年までにCO₂を25%削減する目標を掲げており、行政、企業、各セクター、NGO/NPO、府民が一体となって、対策を進める必要があります。日々の生活の中で様々な取組みに努めるとともに、優れた取組みはより多くの人のための取り組みとなるよう、情報を発信し、広めていくことが大切になっています。

そのため大阪府地球温暖化防止活動推進センターは、大阪府内において、地球温暖化防止に関して地域の創意・工夫を活かした取組みを実践している団体を掘り起こし、その取組みを紹介する「なにわのSTOP!!温暖化 大作戦」大阪大会を開催し、優秀な団体を表彰するとともに、最優秀の団体を各都道府県の代表が出席する「全国大会」に大阪代表として推薦します。

●公募の対象●

大阪府内で行っている地球温暖化防止の推進に係る活動で、CO₂の排出削減効果が見込まれるユニークな取組み。活動主体は団体・グループ(市民団体、企業団体、自治体、学校など種別は問いません)だけでなく、個人での取組みも可とします。

応募についての詳細は裏表紙の「なにわのSTOP!!温暖化 大作戦」大阪大会公募要領をご覧ください。▶

えこっとOSAKA

2010 秋号 vol.27

編集・発行／大阪府地球温暖化防止活動推進センター
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 財団法人大阪府みどり公社
TEL 06-6399-9550 FAX 06-6399-9550 http://osaka-midori.jp/

編集協力・印刷／株式会社ウィルハーツ
〒552-0004 大阪市淀川区西宮原2-1-17
TEL 06-6660-0100 FAX 06-6660-0100

新大阪センタービル506号

FAX

アンケートにぜひお答えください。抽選で下記商品をプレゼントします!

Q1 どこで「えこっとOSAKA」を手に取りましたか?

Q2 今後取り上げて欲しい内容を教えてください

Q3 本誌を読んで環境に対する考え方に変わった事がありますか?

住 所

氏 名 男 ・ 女 年 齢 才 TEL

ご応募はファックス、またはメールで
締切り●平成22年10月29日(金)まで

FAX.06-6399-9550 または E-mail:ecotto@w-hearts.jp

○当選者発表は商品の発送をもってかえさせていただきます
○お答えいただいた内容や個人情報は、「えこっとOSAKA」の誌面制作の目的以外に一切使用いたしません

Present!

待望の生駒本完成! 3名様



「生駒山—歴史・文化・自然にふれる—」
(生駒山系歴史文化研究会 著)
プレゼント!

著者 生駒山系歴史文化研究会
編者 財団法人 大阪府みどり公社
2010年4月発行 税込定価 1,785円

「生駒山—歴史・文化・自然にふれる—(生駒山系歴史文化研究会 著)」をアンケートでお答えいただいた方から抽選で3名様にプレゼントします。

内 容	
I 歴史編 行基と生駒の歴史文化 生駒山系と宝山寺 神秘の山、生駒—生駒山の宗教世界 生駒—神光の息づく世界	II 自然編 生駒の自然 「大阪府民の森」誕生秘話 日本最古の里山—人が作った豊かな自然 III 探訪編

審査方法

書類審査とヒアリング審査があります。ヒアリング審査は、書類審査を通過した団体のみ、審査委員及び来場者の前でプレゼンテーションを行っていただきます。

大阪大会にて最優秀賞を受賞された団体は、平成23年2月5日～6日に東京で開催される「全国大会」で取組みの発表をしていただきます。

スケジュール

8/30～9/27	公募期間
10月上旬	書類審査実施
10月中旬	大阪大会 説明会
11/6	ヒアリング審査、大阪大会開催 (万博記念公園)
2/5～6	全国大会 (東京)

応募方法

大阪府地球温暖化防止活動推進センターのHPから応募書類をダウンロードし、必要事項を記載のうえ、下記まで持参、郵送、メール (Word、エクセル又はPDFファイル) 又はFAXにより提出して下さい。

http://www.osaka-midori.jp/ondanka-c/index.html

提出期間

平成22年8月30日(月)～22年9月27日(月)

お問合せ先 大阪府地球温暖化防止活動推進センター
(財団法人 大阪府みどり公社)

〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 (創建本町ビル5階)
TEL: 06-6266-1271 FAX: 06-6266-8665
e-mail: center@osaka-midori.jp

くわしくは大阪府地球温暖化防止活動推進センターのホームページをご覧ください。

『えこっとOSAKA』を
購読しませんか?

継続して購読されたい方は、1期(4号:年4回発行)送付分の切手、120円分4枚をご用意いただき、郵便番号、住所、氏名、電話番号、何号分から送付をご希望かを記入のうえ、大阪府地球温暖化防止活動推進センターまで郵送にてお送りください。
●あて先 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 財団法人大阪府みどり公社 大阪府地球温暖化防止活動推進センター
お近くの市町村(環境担当部署)、消費者生活センター、府立図書館、府民情報プラザなどでも配布しております。

えこっとOSAKA

「えこっと」は地球環境を守るために、私たちの暮らしを「ちょこっと(少し)だけ、えーこと(良いこと:やさしい)、エコロジカルにしよう」と、大阪言葉を交えた意味を込めています。

100

古紙・パルプ配合率100%再生紙を使用

PRINTED WITH
SOY INK

かんがえよう、生物多様性。

—それは、すべての命を大切にすること—

現在、地球上には確認されているだけで約175万種、未知のものも含めると3千万種の生物が暮らしているといわれています。これらあらゆる生物は、お互いが複雑につながり合い、支え合うことで、生命誕生以来、長い命の歴史をつむいできました。

このように、多種多様な生物がそれぞれの特徴を持って共生していることを「生物多様性」といいます。

生物多様性の重要性

地球上には前述のように、人間を含め、さまざまな生物が存在しています。私たちが地球上で暮らしていくうえで他の生物と関わらずには生きてはいけません。

酸素を得るためには植物の存在は欠かせず、さまざまな生物が暮らしているため、栄養を得るために野菜や他の動物を食べています。

私たち人間も生物多様性の仕組みの中にあり、自然や他の生物から、さま

ざまな恩恵を享受しています。

しかし今、急激な環境破壊などによって、その仕組みが失われつつあります。

生物多様性というかけがえのない仕組みを私たちは自らの手で壊しているのです。

生物多様性への取組み

1970年代から1980年代、世界では酸性雨や地球温暖化など、地球環境問題についての意識が高まり、絶滅の恐れのある野生生物を守る「ワシントン条約」や国際的に重要な湿地を守る「ラムサール条約」などの国際条約が相次いで成立しました。

その後、1992年に「地球サミット」と呼ばれる環境と開発をテーマとした首脳レベルの国際会議がブラジルで開催され、ここで「気候変動枠組条約」とともに「生物多様性条約」が採択されました。

生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開かれます。

COPとは締約国会議（Conference of the Parties）の略で、国際条約に批准した国が集まる会議のことです。環境問題に限らず多くの国際条約の中で、その加盟国が物事を決定するための最高決定機関として設置されています。

今年は、生物多様性の損失速度を顕著に減少させるという目標（2010年目標：2002年のCOP6で採択）の年に当たり、目標の達成状況の評価と、ポスト2010年目標が議論される、条約にとって大変重要な会議です。

約190カ国が集まり、主に条約第15条のABS問題について話し合われます。

ABS問題とは

ABSとはAccess and Benefit Sharingの略で、「遺伝資源へのアクセスと利益の公正・衡平な分配」を意味します。遺伝資源とは、動植物や微生物が持っているDNA情報などに由来する資源のことです。

現代社会では、遺伝資源を利用した医薬品や食料品、化粧品などがたくさ

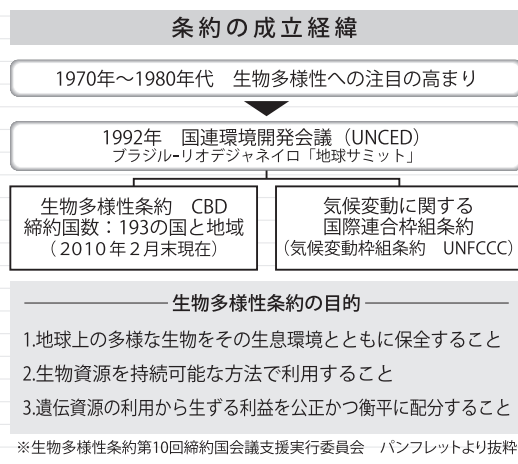
ニチニチソウ
(学名：Catharanthus roseus)



主にアフリカ大陸の南東のマダガスカル島に自生し、先住民によって保全されてきた。

工業先進国によって新薬の開発のために利用されたが、商品化の後、先住民に利益の還元はない。

生物多様性条約の第6条に、締結各国の行動計画(Biodiversity Action Plan, BAP)を定めることが求められています。



日本は翌年の1993年から参加し、1995年には日本版BAPとして「生物多様性国家戦略」を定めました。数度の改訂、見直しを経て、2010年3月に「生物多様性国家戦略2010」が策定されました。第1部「戦略」と第2部「行動計画」で構成

「バイオパイラシー（生物資源の海賊行為）」として非難する声が高まりました。遺伝資源は、その土地に豊かな生態系が保たれていて初めて発見されるに至ったという点が重視され、遺伝資源の所有権はその自生する国にあるという内容が条約に明記されました。

さらに2002年の世界首脳会議（ヨハネスブルクサミット）の決議を経て、今年2010年までに新しくABSの国際ルールを締結することが決定したのです。

目下のところ、先進国側は厳格なルールの制定や大きな利益の還元には前向きとは言えません。一方、遺伝資源を保有する国々は、確実な利益の配分を求めています。ここで言う利益とは、金銭的利益だけではなく、技術の移転や途上国の研究員への教育の機会提供なども含まれています。

新しい国際ルールはどのようなものになるのでしょうか。

日本に期待されていること

ABSを巡る議論は、長年平行線を辿っています。提供する国の政府は、自分たちが自然や遺伝子に関して伝統

され、「3つの危機」と「地球温暖化」、それに対する取組みを次のように定義しています。

- | 課題 |
|---|
| 第1の危機：乱獲・開発によって、生物種が絶滅・減少していること。もしくは生物種の生息地・生育地が減少していること。 |
| 第2の危機：里山などが適切に手入れされなくなっため、その地の自然環境が変質したこと。 |
| 第3の危機：外来種の侵入によって、既存の生態系がかく乱されること。 |
| 地球温暖化の危機：地球温暖化によりもたらされる種の生息・生育地の縮小、消失等。 |

戦略

生物多様性を社会に浸透させる。地域における人と自然の関係を再構築する。森・里・川・海のつながりを確保する。地球規模の視野を持って行動する。

第2部では、右記4つの戦略に沿って数値目標を設定した施策について記述しています。具体的施策数は第3次生物多様性国家戦略の約660から約720に、数値目標の項目は34から35に増加しました。

COP10の開催

今年10月18日から愛知県名古屋市中

的に持っている知識や経験を尊重されることを望んでおり、研究技術を含めた利益の確実な配分のためのルールを要求しています。

一方で、先進国の企業や研究機関は、なるべく資源確保のためのコストを減らして自国の技術開発を促進するために、利益配分に対しては消極的です。日本も、先進国として同様の姿勢をとっています。

地球サミットにおいて生物多様性条約に調印しなかった米国の加盟を促すためにも、今回の議長国である日本は、工業先進国の先頭をきつて、新しい制度の創設を取りまとめる責任があるのではないのでしょうか。具体的な意見を提案することが期待されます。

私たちは他の多くの生命と、地球上でつながりあひながら生きています。それは、生物多様性により生命のバランスが保たれ、維持されているからです。

現在も、そして遠い未来においても、かけがえのない生物多様性について考えてみてはいかがでしょうか。

多様な立場から、自然の豊かさを理解することの大切さ

自然の中で遊び方を追求すると、エコロジーにつながる。



全国海の再生プロジェクト・大阪湾での活動

感がありますね。
自然再生を考える際に、昭和30年代を指そつと言われていますが、当時に比べて今は海水温度が2℃高くなっています。この違いは大きくて、どうすれば再生できるのかという話ですが、高度経済成長期に、海と日本人との距離を遠ざけてしまったものとして、直立岸壁があります。臨海を人工的にまっすぐ隔てるためのものですが、これによって浅瀬がなくなりました。「海はあっても「海辺」が

なくなつた、ということ。浅瀬は本来、人間が海の恵みや危険性を実感できる、非常に重要な場所です。国土交通省も2003年に「里浜づくり宣言」といって、人手を加えることによって生物多様性の高まった沿岸海域を保全しようとしていますね。僕らも大阪湾クリーン作戦などで再生プロジェクトに参画しています。
——NPO法人の活動はボランティアが主軸だと思いますが、ボランティアのありかたについてはどのような方針をお持ちですか。

先日、海水浴場を管理している役場から、浅瀬に生息するタイラギガイという二枚貝を踏んで足を怪我するというクレームがあるの、ボランティアで駆除してほしいと依頼されました。痛い目にあって、海を嫌いになる子どもが増えるのは残念だと思ったので引き受けました。色々考えさせられました。まずタイラギガイが人

■NPO法人 CAN
(正式名称:特定非営利活動法人 環境教育技術振興会)
大阪湾再生プロジェクトを大阪府・環境省・国土交通省などの行政や環境保全団体、高校、専門学校などさまざまな団体と一体となって活動しています。

おもな活動内容

大阪湾再生プロジェクト
大阪湾ダイビングスポット創造プロジェクト
大阪湾アマモ移植活動
アマモ育苗キット環境学習会
(小中高等学校などに行きます)
二色浜自生アマモ調査
田辺湾海底保全事業
自然環境体験学習プログラム
(スノーケリング教室)



アマモの移植作業。
アマモは海岸の生き物たちにとって重要な生活環境の場となっている

このほかにも、「なみよいくじら」のプロジェクトAWAREではプロのダイバーが中心となって、ダイビング上級者ならではの海中環境活動を行っています。

事務局 〒580-0021 大阪府松原市高見の里6-7-4
TEL:072-332-1507 FAX:072-333-8629
E-mail: info@npo-can.org

裸足の人が多かったのですが、僕らの感覚で言うところでは怪我して当然です。僕らも、自然の中で遊んでいると痛い目にあうこともあるわけではなく、自然は人間だけのためにあるわけではなく、身をもつて理解する、という経験を積んでいきます。自然との共生のしかたとして、人間がきちんと危険の存在も理解して回避をするべきだということ、これを伝える方が、僕らのできることをしては、生き物を駆除するより先なのではないかな、と思いました。

「豊かな」の意味合いが地球との関わり方によって違つたので、相互理解が大切だという話が印象的でした。
海は豊かさを知ること、地球の豊かさを知ることでもあり、僕の出発点は海を能動的に楽しみたいという欲求なので、目いっぱい遊ぶ中でできることをします。環境の専門家に知恵をいただきながら、好きな海で好きな仲間と、今より海や自然が気持ちよくなることを続けたいです。

今号のエコパーソン

関藤博史さん

有限会社 日本ダイビングプロジェクト 代表取締役
ダイビングスクール なみよいくじら オーナー
NPO法人 CAN (環境教育技術振興会) 理事長



ダイビングスクールなみよいくじら(大阪府松原市)を運営する有限会社日本ダイビングプロジェクトの代表取締役であり、NPO法人CAN(環境教育技術振興会)の理事長も務める関藤博史さん。
現在、和歌山近海でダイバー講習をしながら、大阪湾再生プロジェクトや自然環境体験学習プログラムなど、エコロジー活動も精力的にされています。
今回は、海をフィールドに仕事されている方ならではのエコロジー感覚を探ってきました。

——ダイビングスクール運営と、環境NPO事業を両立されていますが、経緯を聞かせてください。

もともと遊び場を求めて海へ出たんです。より楽しいフィールドを求めて、陸から海辺へ、さらに沖へ、水中へ、と遊び場を広げていきました。海の面白さを人に伝えたくてダイビングのインストラク

ターになり、店を構えたのですが、その頃からだんだん、「昔の海はもつときれいだつたのに…」という感覚が生まれてきたのです。でもより面白い遊び場を求めて移動し続ける、自然に対して受け身ではない自分自身に違和感もあつて、もつと海に対して能動的であるうと思つて始めたのが、NPO法人CANです。

——CANは、サンゴ再生プロジェクトから始められたのですか。

サンゴの植え付けを、沖縄のダイバーたちが始めた友人から聞いたとき、僕は大阪の海洋系専門学校でダイビングも教えていたので、環境に関心の高い学生を巻き込んで、関西でもサンゴの保全活動をやってみたのです。

沖縄では、サンゴの小さい苗を栽培して、枯れかけているサンゴ礁に植え付けていたそうですが、僕らは船のアンカーと接触したり、台風の大波で折れたりした苗を拾つてきて植えました。2、3年続けましたが、毎月手入れしてい

るうちは良くても、手放すとすぐ腐ります。そうかと思えば、5、6年放つたところに自然に生えてきたという例も出て、サンゴが枯れる原因は複雑だと実感しました。

撮影/大阪コミュニケーションアート専門学校 城者定史さん



風土に適応している、という視点が大事だと言われていますね。
僕は生き物の専門家ではないので、あくまでダイバーとしての実感ですが、今は磯焼けというの

沖繩のサンゴは「サンゴ礁」となつて海底に生息しますが、和歌山のサンゴは昔から、岩肌に生息しているのです。生育環境が違えば種類も枯れ方も異なるので、沖繩と同じ方法が正しいのか検討して、関西の気候やサンゴの種に合わせた方法を探っています。

——今年はCOP10で生物多様性について議論される年ですが、生き物は、その土地特有の地形や

でしようか、近海も海洋生物は減っているし、知り合いの漁師は大阪湾でも減っていると言います。生物多様性との関連で考えるのは、海の「きれいさ」と「豊かさ」の違いです。

海がきれい、というのは水質の透明度が高いということですね。豊かというのは海水中に栄養が豊富にあり、捕食関係が成立して魚がたくさん寄ってくるということも含まれます。実際漁師は水がきれいになると魚が減つて困る、と言います。「豊か」の意味合いが、海との関わり方によって違つたので、相互理解が大事だという実

E10 そわって何でんねん？

日本はバイオ燃料後進国？

日本のCO₂排出量のうち自動車等の「運輸部門」は約2割※を占めており、自動車におけるCO₂排出抑制は大きな課題となっています。

そこで注目されているのが「バイオエタノール」。植物から作られるバイオエタノールは、カーボンニュートラル(下図参照)という考え方によりCO₂排出量をゼロカウントできることから、ガソリンに混合して利用することで、混合したバイオエタノール分のCO₂を削減できます。欧米諸国やアジアなど、世界的にもバイオエタノール混合ガソリン(バイオ燃料)の利用が拡大しており、中にはバイオエタノールを85%も混合している国もあります。

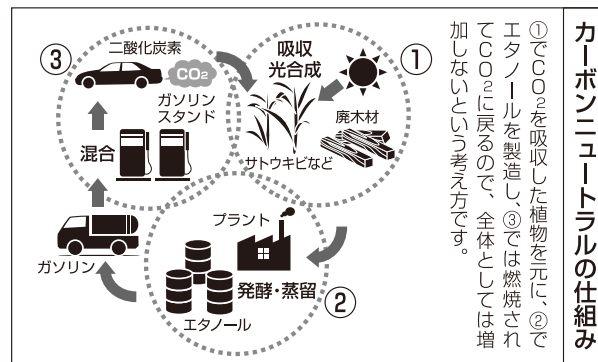
そのような状況の中、現在日本で認められている混合率は3%までと、世界に遅れをとっています。現在、大阪府ではこの「バイオエタノール3%混合ガソリン(E3)」を一般販売することを通じて普及に向けた実証を行っています。同時にそれよりもさらにCO₂削減効果の高いバイオエタノールを10%混合した次世代バイオ燃料「E10」の実用化に向けた事業も実施しています。E10を燃料とする試験車両を公用車に導入し、実際に公道を走行しています。昨年11月には、知事専用車にE10対応車を導入するなど、アピールにも努めています。

※平成20年度の運輸部門でのCO₂排出量は、日本のCO₂排出量の19.4%を占めています(環境省報道発表資料)

▶ さらに詳しい情報は…高濃度バイオ燃料実証事業HP: <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/e10/>

E10は法律で規格が定まっていなかったため、一般には販売されていませんが、大阪府が実施した実証事業の成果を受けて、E10の早期実用化に向け、現在国において車や燃料の規格を定める作業が進んでいます。政府が閣議決定した「エネルギー基本計画」でもバイオ燃料の普及推進が明記されたり、環境大臣が自動車メーカーに対してE10対応車の早期販売を申し入れるなど、E10の実用化に向けた動きが加速しています。

今後の次世代バイオ燃料「E10」の動きにご注目下さい！



自然エネルギーによるCO₂削減を目指して — 啓発活動の実践

大阪府地球温暖化防止活動推進員 井庭 康 氏



ワーキンググループ『自然エネルギーを推進する会』は、推進員の6名が平成19年6月から活動を開始しました。大きな目標や理念を持っていますが、実際には実現可能な範囲で継続しています。自然エネルギーに関心があり、工作好きの推進員が多数を占めていますので、風力発電機、水車発電機、薪炭ガス発電機などを自作しながら、これらを活かす活動を広げています。

今年度は、6月に箕面東高校で、米道綱夫(堺市)さんが「日本の風力発電」と題する出前講座を実施しました。教材としてループ

ウィング風力発電機3台を生徒さん自身の手で組立ててもらいました。

助手として、沖本然生(吹田市)さん、末広晃久(寝屋川市)さんと私が参加しました。生徒さん達は工作に大変熱心で、見事に教材を作りあげていました。

授業を通して、自然エネルギーへの理解が深まっていることを願っています。

更に今年度は、『N-EXPO KANSAI 2010』や万博公園での『エコフェスタ』で、自然エネルギーの説明を行うことで、温暖化防止に向けた啓発活動を実施します。これらイベントに展示して啓発の中心的な材料とする水力発電機をワーキンググループの奥村卓三(大阪市)さんが中心になり設計・製作をしました。電気洗濯機のモータを使ったピコ水力発電機ですが、落差5mで水量が毎秒10リットルあれば、130Wの発電が期待できるものです。自然エネルギーの啓発活動に役立てる以外に、府下に存在するピコ水力発電の適地に設置を増やし、CO₂を削減する活動も実践予定です。

推進員の活動報告



絶滅危惧種とは？



博士、昨日お父さんと動物園に行ってきたよ。

それはよかったね、カン太くん。気に入った動物はいたかい？

うん。ホッキョクグマが大好きで迫力があつた！でも、温暖化のせいでホッキョクグマの住む場所が減ってきてるってお父さんが心配そうに言ってた。

ああ。温暖化の影響で北極の気温が上がると、ホッキョクグマがすみかになっている氷が減ってきてるんだ。そのためにも育てたり、エサをとったりするのが難しくなっている。このままだと確実に絶滅するよ。

予想されてる。

絶滅？

絶滅とは地球上から滅びていなくなってしまうことだ。ホッキョクグマのほかにも、いま絶滅が心配されている動物は世界中にたくさんいる。パンダやオランウータン、ゴリラ、チンパンジー、ユキヒョウ、ライオンなどがそう。これら絶滅してしまふような動物を絶滅危惧種とよんで、保護しようという動きが世界中で高まっている。

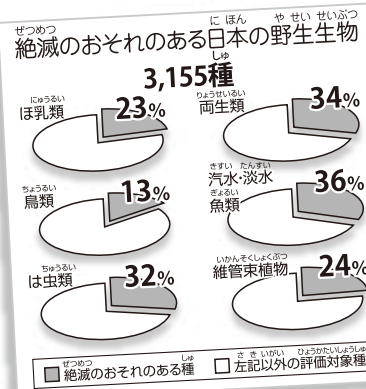
みんな動物園にいるけど…

動物園では飼育・保護されているけれど、野生のいきものはどんどん減ってきている。わが国では日本の絶滅のおそれのあるいきものを国がリストにまとめ、保護をよびかけてるよ。

どうしてそんなに減るの？

ホッキョクグマのように気温が上がって住む場所がなくなる動物もあれば、森がへたり、水がよれたりして住むのに困っている動物もいる。残念だけど、これはほかの人間に大きな責任がある。

えっ！



絶滅してしまった動物

オキナワオオコウモリ、ニホンオオカミ、トキ、イリオモテヤマネコ、ジュゴン、コウノトリ など

絶滅の危機にある動物

ほかに温暖化が原因で絶滅が危惧されているいきものを調べてみよう！

人間でさえ生活できなくなる可能性もあるんだよ。

大変だ！なんとかならないの？

世界中のみんながこの問題に取り組むことが必要だ。いろいろなきものとそのすみかを守ることを目的とした国と国の約束が、1993年10月には愛知県名古屋で、おきな会議も開かれるんだ。

ほんとにできるのかな？

いきもの、いきものがすんでいる場所を守ってあげることが大事だよ。家族で海水浴や川遊びにいったら、ムシはちゃんと持ち帰ろう。そして、ペットを飼っていたら最後まで大切に育てよう。手に負えなくなつた動物を捨てたり、にがしたりすると自然界に悪い影響が出てしまうからね。

【参考】「生物多様性～いのちと暮らしを支えるもの～」 環境省 自然環境局 自然環境計画課 生物多様性地球戦略企画室
 【参考URL】 環境省 自然環境局 生物多様性センター <http://www.biodic.go.jp/>